岐阜大学機関リポジトリ
Gifu University Institutional Repository

肝発癌監視・抑制のレチノイドによる制御とその遺伝子機構に関する研究

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2008-03-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 森脇, 久隆 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12099/178

序

癌が日本人の死因の第１位となって久しい。これを克服することは，ひとり医療関係者のみならず，科学者全体にとって大きな課題である。この課題を解決するためには，癌の早期発見・早期治療の問題はさておき，生体における発癌そのものを抑制する試みが，将来的には必須であろう。我々は，従来より抗発癌プロモーターであるレチノイドによる発癌制御の研究を進めてきた。その結果，ヒト肝の多中心性発癌を臨床的に予防し得るとの成果に至った。一方，その作用機序を遺伝子レベルで解明することは，癌が遺伝子（ＤＮＡ）の疾患であることを考えた場合，さらに広く発癌予防を実践する上で不可欠の作業である。このような背景にたって，今回，本研究補助金を受け，肝発癌をモデルとして，レチノイドによる発癌監視・制御の遺伝子機構に関する研究を行うに至った。